

# 用水季報

令和5年10月 第15号  
発行元：美しい水の会  
連絡先 090-1993-5903  
<http://bunji-yosui.org/>



**用水の状況：**6月に都道3・2・8号線と五日市街道交差点の工事のため、6月15日（木）から7月19日（水）まで止水との通知がありましたが、その後国分寺市域の住宅開発のため止水期間が9月末まで大幅に延長されました。したがって今期は丸々3ヵ月の止水となりました。上記工事が完了し、10月2日（月）取水口が開けられました。立川市域でゴミがつまり立川からの流れは細く、国分寺市域も、上図5箇所以外の定期的整備を行っていない流路内の草が繁茂し細い流れを阻止しているため、10月4日（水）現在、並木町公園西上流で止水しています。早急に立川市内のごみ撤去と通常以上の水量を取水・流下させることを立川市に要請しているところです。今季92日間の止水です。

**令和5年7月～9月の美化活動：**今夏の異常な暑さのせいで、草の成長が著しく、特にヤマモモ公園の用水路は草の繁茂が激しく、定期作業に加え臨時作業として7月13日、同17日、9月5日、同12日と計7回の整備を行い、さらに同公園内の気づき作業を3回行う必要があったほど、まさに草との戦いでした。

下の写真の様に、整備後1ヵ月で水路が隠れる草の茂り方です。右図の通り市との共同作業は延期・中止となり、激しい雨による道路排水でゴミと枯葉が大量に詰まり、並木公民館親水施設で気づき清掃を10回も行った3ヵ月でした。通水していれば必要の無い流路内の草取りという作業が入り、通水時より手間がかかりました。流路内を含め草刈りが少ない事を期待するのみであることが

今季（7～9月）の気づき清掃	
場所	回数
並木町公園	10
並木公民館親水施設	10
北町地域センター	1
ヤマモモ公園	3

歯がゆく、早急な通水を常に期待しながら草と戦い続けた今期の作業でした。



活動実施日	場所
7月 8日（土）	ヤマモモ公園
7月19日（水）	並木町公園西延期*
7月20日（木）	並木町公園西
7月27日（木）	北町地域センター
8月12日（土）	ヤマモモ公園
8月16日（水）	若葉町境作業延期*
8月26日（土）	並木公民館親水施設中止
9月 9日（土）	ヤマモモ公園
9月13日（水）	並木町公園西
9月28日（木）	北町地域センター

\*印は市との共同作業

**皆さん！一緒に、砂川用水を美しい流れにしましょう！！**

多摩川の水が流れる国分寺市唯一の流れ“砂川用水”。江戸期より約300年近く先人の努力で流れ続けている国分寺市の生活・経済の社会基盤となった砂川用水です。

**美化活動実施日**

（第3水曜日、第4木曜日は9:30、その他の日は10:00現地集合）

- 毎月第2土曜日 :ヤマモモ公園
- 毎月第3水曜日 :立川市若葉町境・並木町公園西を交互に
- 奇数月第4木曜日 :北町地域センター脇用水路跡地
- 偶数月第4土曜日 :並木公民館親水施設

ご参加お待ちしております

年会費 500円



連絡先：090-1993-5903 <http://bunji-yosui.org/>

## 中秋の名月の下、北町地域センターに「月下美人」咲く

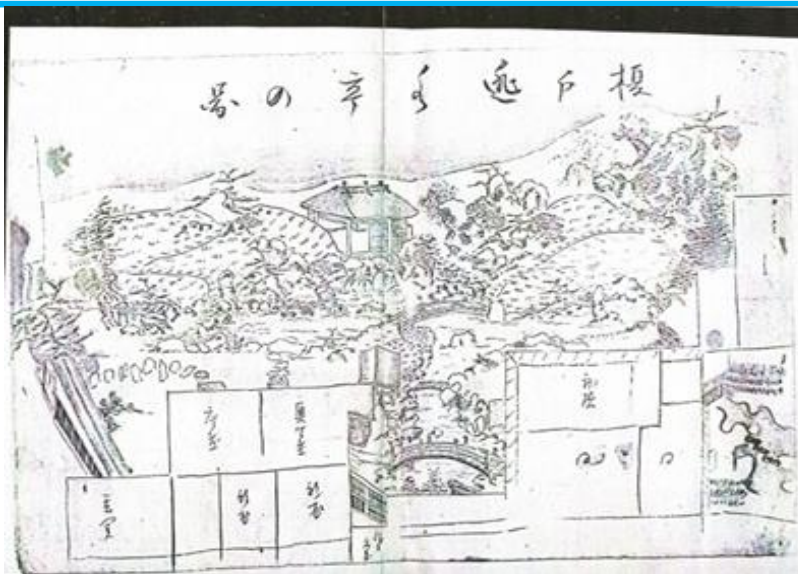
月下美人が開花したとの情報を受けたのは、9月29日（金）夜9時、まさに中秋の名月の情景がTVで報じられている時でした。北町地域センターに駆けつけると、甘い香りが漂い、妖艶な月下美人が4輪、10～15cmほどの大ききで、鮮やかに白い姿を見せてくれていました。一夜だけ香り、朝には花がしぼんでしまうのが惜しいのでしょうか、先客が何枚も何枚も写真

を撮っていました。雲に覆われた中秋の名月が9時半ごろに雲の切れ目から姿を出し、月下美人を鉢ごと移動し名月と月下美人という左のような構図の写真を撮ることが出来ました。「美しい！」「いい香り！」という言葉だけが飛び交ったひと時でした。この花の花言葉「はかない美」「はかない恋」は、月下美人が夜に咲いて翌朝にはしぼんでしまう1日花であることが由来だそうです。翌日も夜8時ごろ4輪が花開き素晴らしい香りを漂わせていました。来年のこの時期に、皆さんも妖艶なこの姿をぜひご覧ください。



## =砂川用水にあった「逃水亭」と榎戸源蔵=

皆さんは、砂川用水沿いの北町に、かつて「逃水亭」と名付けられた右図のような大きな屋敷があったことをご存じでしょうか？ 国分寺市史によれば「榎戸源蔵が屋敷の主人で、武蔵野台地特有の春の日に乾いた地面上に現われる陽炎を‘逃げ水’と呼ぶことにちなみ「逃水亭」（トウスイテイ）と名づけたとのこと。榎戸新田地域にあるこの屋敷の建設時期、規模など詳細は不明です。右図によれば、砂川用水の流れを邸内に引き込んだ大きな屋敷であったようですが、口伝では昭和初期ごろまでは残っていたとのこと。主人である榎戸源蔵については、12代続く名跡なのですが史料が少なく、今後の



調査が待たれています。榎戸源蔵は武蔵野新田開発に携わった当時の武蔵国82カ村の総代を務め、1748年（寛延1）に新田開発の村域がお鷹場に編入された後、1824年（文政7）に幕府より尾張藩の「鷹場御預かり御案内役」を拝命しています。又、榎戸源蔵は榎戸新田地域（現北町・並木町・新町・西町地域一帯）と他の新田開発地域（平兵衛新田、上谷保新田、野中新田など）の名主も兼務した人物です。尾張藩の鷹狩時の応接対応との関係もあり、榎戸源蔵がこの「逃水亭」を造ったのではないかと、私は想像しています。妙法寺にある川崎平右衛門、伊奈半左エ門謝恩塔も、榎戸源蔵が82カ村の総代として各村に働きかけ、二人の善政により農民生活が安定したことへの感謝の印として、1799年（寛政11）に建立したのです。

11月11日（土）と11月18日（土）並木公民館で新田開発の歴史と私たちが住む並木町の誕生など含めた教養講座が開催されます。市報でも告知されます。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

用水を綺麗に、楽しい場所に！ 気軽にご参加ください！ 令和5年10月から12月の美化活動予定

用水に立ち入るため長靴と飲み水はご用意ください。

実施場所、実施日は天候や用水状況によって変わります。「美しい用水の会」下記ホームページでご確認ください。

10月実施日・場所		11月実施日・場所		12月実施日場所	
10月14日（土）	ヤマモモ公園	11月11日（土）	ヤマモモ公園	12月9日（土）	ヤマモモ公園
10月18日（水）	立川市若葉町境	11月15日（水）	並木町公園西	12月13日（水）	立川市若葉町境
10月25日（水）	並木公民館親水施	11月23日（木）	北町地域センター	—	—

皆さんと一緒に 300年流れ続ける砂川用水を、憩える空間にしませんか！